



# せんだん

みんな なかよし みなげんき

安来市立南小学校 校長室便り  
令和3年7月20日

<https://www.city.yasugi.shimane.jp/gakkou/minami-es/>

## 1学期終了！ 全員元気に過ごすことができました！

本日全員元気に1学期の終業式を迎えることができました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、約1か月の臨時休業になったため、7月いっぱいまで1学期の終わりを伸ばしましたが、今年度は学校が予定していた大きな行事もすべて実施し、例年通り7月20日の終業式を迎えることができました。（7日の集中豪雨による臨時休業、12日の保護者の方による送迎と梅雨の末期の大雨に肝を冷やしました。）

子どもたちにとって、1学期一番楽しかった思い出は何でしょうか？ 梅雨の合間を縫って実施した運動会、天気に恵まれた5年生の大山での宿泊研修、2年ぶりのプールでの体育の学習、町たんけん、地域の野菜名人に教わった野菜作りなどなど、子どもたちそれぞれが「楽しかった」と言える思い出が心に積み重なっていることを心より願っています。



### 夏休みの過ごし方

終業式で子どもたちに以下のお願いをしました。

「お家の人と一緒に初めてのことに挑戦しよう！」

40日近くの長い夏休みです。この期間に少なくとも1回は、子どもたちの挑戦に力を貸してあげてください。大げさなことでなくてもいいです。「家族全員の朝ごはんを作ろう」「歩いて〇〇まで行ってみよう」「お母さんの家事を一日全部代わってやってみよう」など、大人の偉大さ、すごさを実感させてあげてください。そして子どもの成長を感じてください。そんな機会を持っていただきますようお願いいたします。6年生親子の大山登山はきっと素晴らしい経験になりますね。

「50人以上の人とお話ししよう！」

お盆休みや地域行事など、たくさんの人と出会うことができる期間です。あいさつをかわすだけでなく、言葉をかわし、コミュニケーション力を高めてほしいです。特に高齢者の方は子どもたちとの会話を何より楽しみにされています。保護者の皆様には、子どもたちにそういう場を積極的に与えてください。地域の皆様もお声がけのほどよろしくようお願いいたします。

### 夏休み～2学期当初の予定

7月21日（水）・26日（月）	個人懇談 ※希望者のみ
7月27日（火）・29日（木）	ひまわり教室 ※希望者のみ
8月21日（土）	P T A環境整備作業
8月23日（月）・24日（火）	ひまわり教室 ※希望者のみ
8月27日（金）	始業式
8月30日（月）	給食開始

### 【交流センター行事】

大塚交流センター  
7/29（木）竹の水鉄砲作り  
吉田交流センター  
8/3（火）吉田こども塾  
申し込みをした人は楽しみです  
ですね。

## 7月の全校朝礼のお話



白黒の五輪マークを示すとすぐに「オリンピックのマークだ」と答えが帰ってきました。

「何色が使っているの？」と聞くと、「赤」「緑」「黄」「青」「黒」とこれも間違えずに答えてくれました。(違う色を言う子もいると予想していたのでパーフェクトの答えに驚きました。)

「じゃあどんな順番か言える人」と聞くとチャレンジしてくれたのは1年生。残念ながら正解ではありませんでした。

私が子どもたちに伝えたかったことが、「みる」→「よくみる」→「じっくりみる」ということでした。ふだん何となく見て、何となく見えていると思っているものも、見落としていたり、気づくことができなかつたりすることが案外多いのではないのでしょうか？

登校途中に1年生は周りの生き物にとっても興味を持って観察しています。先日もセミがさなぎから成虫になろうとしているところを見つけ、「羽化している。まだ羽がかわいていないから飛べない。」と教えてくれたり、別の子はカエルの死骸に集まっているたくさんの蟻を見つけて「小さい蟻が大きなカエルを食べるのかな？」と不思議そうにつぶやいたりしていました。

真っ白のキャンバスのような素直な心で「どうなっているんだろう？」「どうしてだろう？」と興味津々で見ると、見えてくるものも違ってきます。知らないことを知る、見つけると心がワクワクします。大人になると「知らないことはよくないこと」と捉えてしまいがちですが、小さな子ほど「知らないから知りたい」という知的欲求につながっていきます。そのような心をすべての子どもたちが持ち続けるよう、大人は簡単に答えを与えず待つことが必要ではないのでしょうか。

## 3世代家族の魅力

先日保護者の方から以下のお手紙をいただきました。

我が家はじいちゃん、ばあちゃん存在で成り立っています。いつもおだやかな〇〇の姿はおばあちゃんを見ているからなのです。父と母は働くことに夢中ですが……。

いつでもおだやかに、思いや行動を受け入れてくれるおじいちゃん、おばあちゃん存在はとても貴重でありがたい♡

子どもにとって親におこられた時の逃げ道や、話を聞いてくれる人、甘える相手、うれしいことのわかちあいなどなど……。

おじいちゃん、おばあちゃん存在は偉大なのです。おだやかな姿はここからうまれてくるのです。

この手紙を読んだ時、心がほっこりしました。お母さんがおじいさんやおばあさんに感謝している気持ちが、お子さんにもしっかり伝わっていることも想像できました。

自分は核家族で育ち、我が子も核家族で生活をしてきましたが、祖父母は家のすぐ近くに住んでいたのも、たくさんを教わり、見守ってもらっていたのだと今にしてみれば気づくことができます。

家族の中でお手紙に書かれているような関係性が築かれていることに感激すると共に、きっと我が子、我が孫と同じような気持ちで、地域の子どもたちにも接して下さっていると思っています。

そんなあたたかな方が南小の校区にはたくさんいらっしゃいます。子どもたちが健やかに成長できていることを校長として改めて感謝申し上げますと共に、学校も負けないうらいの気持ちで子どもたちの成長の一助となっていきます。